

8

床材・慎重に・美しく★

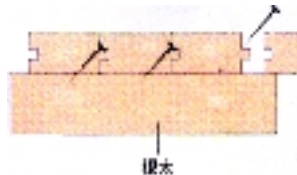
ポイント①

張る前に床材を借り置きして、だいたいの流れをつかもう。一番隅が特に重要。

しっかり綺麗に張り付けなくっちゃね！

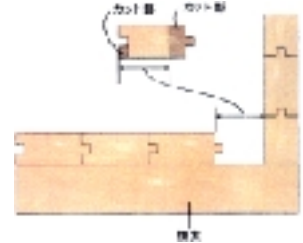
ポイント②

1枚目の床板は、凹部分を壁側にぴったりくっつけ、40mmくらいのフロア釘を幅木で隠れる位置に直角に打つ。その後は床材の凸部分を釘で斜め打ちしていくよ。釘の頭が出ていると、次の床材が入らないから、ポンチを使ってしっかりね！



ポイント③

最後の1枚は、サイズが半端になるから、残りのスペースに合わせて丸ノコでカットしよう。このとき、残りの幅をキッチリ測って、隙間がないように板をはめ込むのがポイントだよ。



床材は厚く固い材が使われるうえ、もっとも仕上がりの美しさが求められる場所だよ。

釘を斜めに打ち込んでいくから、少々技術と根気が必要。裸足で安心して歩ける床を目指して、がんばろうね！

まず、1枚目の床板を隅に決めたら、あとは順々にはめこんで、1枚ずつ釘で固定していこう。今回は、コンパネの上に床材を張っているから、根太の位置が分かりにくいから注意だよ。ポンチを使った釘打ちにやっと慣れたところに、床張りも終わると思うよ。幅木を床と壁の間に止めて、完成！

9

デッキ・見た目・メンテナンス

ポイント①

床材と床材の間は、10～15mmの等間隔にすると仕上がりが綺麗。材と材の間に板をはさんで固定していくといいよ。板はコンパネの端材でも、梱包材の板切れでもなんでもいいよ。最低3個は必要になるからね。

ポイント②

釘を綺麗に打つために、ビスも等間隔で綺麗に止めよう。メジャーで測りながら止めるか、紙で簡単な定規を作って止めよう。もちろん、床材の下の根太が綺麗に施行されているのが条件。

ポイント③

45mm口は手すり（かさぎ）はU型をしているよ。



屋根と床が仕上がったら、次はデッキの仕上げだよ。雨にさらされるデッキは、一番メンテナンスが必要な部分なんだ。デッキに水が溜まると、材が腐りやすくなるし、カビもつきやすくなっちゃうんだよ。だから、デッキの床材は、隙間をあけて貼って、水はけを良くするという特徴があるんだよ。もちろん、設置前に防腐用の塗装もするんだ。忘れずにね！ビス止めをするときは、材の割れを防止するためにドリルで下穴をあけておこう。反りのある材を矯正しながらビス止めしていくのが、綺麗に仕上げるコツ！